



2026年6月15日

各 位

会 社 名 株式会社ギフトホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田川 翔
(コード：9279、東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役管理本部長 末廣 紀彦
(TEL. 03-5990-4650)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年3月16日に公表いたしました2026年10月期の連結業績予想を修正いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年10月期 通期連結業績予想の修正(2025年11月1日～2026年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	43,000	4,400	4,360	2,610	130.37
今回修正予想(B)	43,900	4,800	4,770	2,880	143.66
増減額(B-A)	900	400	410	270	
増減率(%)	2.1	9.1	9.4	10.3	
(ご参考) 前期実績 (2025年10月期)	35,878	3,367	3,374	2,185	109.34

2. 業績予想修正の理由差異の理由

当社グループは2026年10月期第2四半期(中間期)においては、店舗QSCAの継続的な向上及び営業時間の延長に取り組んだことにより、国内直営店の既存店売上高は、前年同期比(改装店除く)102.8%と順調に推移しました。また、食材の調達方法の最適化や製造効率の向上により食材コストを低

減させることができ、売上高総利益率は前年同期から大きく改善しました。その結果、当第2四半期の売上高および各段階利益は前回予想を上回りました。

一方、第3四半期以降について、現時点では上期同様に堅調に推移しておりますが、依然中東情勢によるエネルギーコストの上昇等のリスクや先行投資の可能性がございます。

以上を踏まえ、2026年10月期第2四半期(中間期)に計画対比で上回って推移した分を2026年3月16日発表の2026年10月期通期連結業績予想に上乘せする形で修正することとし、下期は据え置きとしております。

事業環境の見通しを考慮した上で、更なる計画の修正が必要となった際は速やかに開示致します。

当第2四半期連結決算の詳細は、本日開示の「2026年10月期 第2四半期(中間期)決算短信」「決算説明資料」をご参照下さい。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績等は、今後様々な要因により上記予想と異なる場合がございます。

以 上